



市有財産処分と利活用／期待に  
応えられるスマホアプリを



仮称はなこ桜プロジェクトの創設  
市内公共交通網の見直し



子どもの医療費負担軽減を  
東京オリンピックの気運醸成



小学校区ごとの居場所整備は  
漫画図書館なども総合施設

市有財産処分と  
利活用の考え方について

質問 ①不動産以外の市有財産の売却、寄附、廃棄の判断は。②粗大ごみが市所有物になるまでの流れと利活用の考え方は。

市長 ①物品の所管課で売却、廃棄等を判断する。不用品の処分は売却を基本とし不適当な場合は廃棄する。また、寄附については公益上必要な場合に行う。

②市が収集した時点で市の所有物になる。状態のよい木製家具類は、シルバー人材センターがリプレこだいらで再生販売している。引き続き、ごみ減量等への市民意識向上を図っていく。

市民の期待に応えられるスマートフォン用アプリケーションを

質問 ①市が提供しているスマートフォン用アプリケーションについて、市民意見を参考に改善を行った点は。

市長 ①環境家計簿アプリについて、アンケート意見を踏まえ、入力機能改善の改善を行った。

②緊急メールマガジンの配信情報は、アプリではなく市公式ツイッター等で同時配信できるように整備した。今後も効果的な情報配信方法を研究していく。

花小金井地域を桜で飾る仮称はなこ桜プロジェクトの創設を

質問 ①第五小学校から東部公園へのアプローチと東部公園に桜の植樹をすべきたが、見解は。

市長 ①アプローチ部分は日照等の問題から難しいが、東部公園内で倒木等により伐採した樹木にかえて植樹を検討している。

②花小金井駅南口の桜並木は老木化等が進んでおり、まずは名所の桜の維持が重要と認識している。プロジェクトは機運の高まりを受けて検討するため、現在、立ち上げる予定はない。

市内公共交通網の総合的見直しをさまざまな観点で実施すべき

質問 ①交通不便地域で二ノズがあるが道路幅等の物理的側面での通行できない地域への対応は。

市長 ①アプローチ部分は日照等の問題から難しいが、既存交通機関のPRなど取り組みを工夫しながら、地域の利便性が向上するように検討していく。

②公共交通に対する基本的な考え方の総括及び検証を行い、市内の交通機関の状況等を踏まえながら、民間活用や近隣市との連携などを検討していく。



公契約条例の導入について  
多摩産材の利用促進

公契約条例の導入について

質問 ①導入の検討状況は。②事業者との意見交換会で出された意見は。③近隣4市で行った情報収集に対する分析は。

市長 ①毎年市内事業者から意見を聞いている。28年度から近隣4市合同で視察により情報収集し、課題等研究を行っている。

②報告書等作成での負担や、総合評価方式にも労務単価の加算項目があり、引き続き総合評価方式の中で推進するのがよいのでは、などの意見があった。③対象案件が限定的なので効果は限られると分析している。



一橋学園駅前、鷹の台駅前の利便性を高め、危険性の低減を

一橋学園駅前、鷹の台駅前の整備について

質問 ①一橋学園駅北口前の踏切、信号、横断歩道は危険な状態にある。改善を検討できないか。②学園駅前公園を閉鎖し、タクシー乗り場を設置することはできないか。③鷹の台駅前にタクシーを待つ人のためのベンチを設置することはできないか。④鷹の台駅北の銀行店舗が閉鎖される場合、市が跡地を取得し、北側にある公園と一体的に整備し、タクシー等の乗り場として活用してはどうか。

市長 ①平成24年度より公共施設の新設や改修の際、床材や木材等に使用している。

②公共施設への利用は今後も機会を捉えて進めていく。また、都の取り組みを紹介することで、市民の利用促進を図っていく。【掲載分以外の質問項目】○登下校時の荷物が多く負担となっていることへの対応は

子どもに係る医療費の負担軽減で子育て世帯を応援しよう

質問 ①小・中学生の子どもがいる家庭にとって所得制限による医療費負担は不公平感が強く、撤廃を求める声があるが見解は。

市長 ①市の厳しい財政状況の中、負担能力の高い人への助成は慎重であるべきと考えている。今後も他市等の動向を注視し、限られた財源の中で政策効果を見きわめ、慎重に検討していく。

②現在、国の規定で65歳以上の人等を対象に費用の一部を公費負担している。今後も国の制度に従い助成を実施していく。

東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に取り組もう

質問 ①東京都は機運醸成と健康増進のためみんなでラジオ体操プロジェクトを実施することとしたが、市はどう取り組むか。

市長 ①市主催スポーツイベントでのラジオ体操実施等により、プロジェクト周知に努めていく。

②パブリックビューイング開催のほかコミュニティライブサイトの誘致を検討している。今後、放映権者等と調整していく。

地域の交流の場の整備はどこまで進んだか

質問 ①子どもや高齢者、障害者など、誰もが交流できる居場所は市内に何か所あるか。

市長 ①こだいら居場所ハンドブックによれば9か所である。

②情報提供や、関係機関、市民活動団体等との連携の推進など、側面的な支援を行っている。③市で整備する考えはない。



児童発達支援センター／公契約条例／小川駅周辺まちづくり

児童発達支援センターは、関係機関の経験を生かして進めよう

質問 市内には、障害児(者)の福祉施設があり、豊かな経験を持つている。児童発達支援に関する地域連携促進への認識は。

市長 連携が必要と考えている。

(仮称)公契約条例の制定について  
質問 仮称公契約条例制定に向けて検討を開始してはどうか。  
市長 導入自治体への視察による情報収集等をしており、今後整理していく。また、総合評価方式の効果検証も必要となり、現時点では、条例制定に向けた

整備する計画はないが、現在の事業を継続し、交流の場がふえていくよう取り組んでいく。

質問 ①市内の図書館に漫画を置かない理由は。  
②公共施設マネジメントの中で漫画図書館を含め、子どもの育ちをサポートする総合施設をつくれぬか。

市長 ①子育てや教育に関する諸機能は、現在ある各施設や窓口等で対応しており、総合施設として設置する考えはない。

具体的な検討には至っていない。  
小川駅周辺は市民参加でまちづくりを

質問 ①駅利用者のための駐車場と自転車駐車場の確保を市はどう考えているか。  
②西部市民センターは今の場所に残してほしいとの声があるが市民参加で検討できないか。

市長 ①新たに整備される駅前広場を立体的に活用し、地下自転車駐車を活用している。

②公共取得の狙いは、西部市民センターの機能を移転することを念頭に置いたものである。市民意見を把握しながら、よりよい施設づくりに努める。

ラジオ体操カード  
重点期間 7月24日～9月6日  
2020年7月24日～8月9日  
2020年8月25日～9月6日

ラジオ体操カードのスケジュール表  
名前  
住所  
メールアドレス  
電話番号

みんなでラジオ体操プロジェクトのラジオ体操カード  
(みんなでラジオ体操プロジェクト事務局提供)